

## 春の朝、早起きは三文の徳！？

～ 金浦朝市 ～



晴天のもと、多種多様な出店が軒を連ねた

4月1日、にかほ市商工会金浦本所前の通りで恒例の「金浦朝市」が行われました。この朝市は、本格的な農業シーズン前のこの時期に毎年行われており、種や苗などを多く扱っているのが特徴で、100年以上もの伝統があるとされています。

歩行者天国となった商工会金浦本所前の通り約160mには、金物屋や雑貨屋、種苗店など25店が出店しました。天候に恵まれたこともあり、6時の開店から多くの市民が訪れ、苗を眺めたり、色とりどりに咲いた季節の花などを買い求めていました。



参加者全員で一気に引き上げられたワカメ

## 身近な海からの贈り物

～ ワカメ収穫作業：下荒屋地区 ～

3月15日、市の元気づくり応援事業を活用した下荒屋青年部OB会主催によるワカメ収穫作業が行われました。地区住民の交流を図るため9年前から続いており、今年は地区の住民ら約90人が参加しました。

昨年10月に種付けした約40mのロープを、海中から引き上げると、そこには約2mに成長したワカメがびっしり。昨年は不作とのことでしたが、今年は豊作。参加者らは、包丁やハサミで刈り取り、持参した袋いっぱい詰めると、子どもも大人も満足した様子で、さっそく「知り合いに配らねば」等と話していました。

## 交通事故ゼロの社会を目指して

～ にかほ地区交通安全市民集会 ～

4月4日、にかほ地区交通安全市民集会が象潟小学校体育館で行われ、交通安全協会や、1日にかほ警察署長に就任したアイドルグループ乃木坂46のメンバーで秋田県出身の鈴木絢音さんなど約80人が参加しました。

集会では、にかほ警察署員による高齢者事故防止の寸劇や、小砂川保育園の園児による、交通安全への呼びかけなどが行われました。また、1日警察署長を務めた鈴木さんは「車を運転する時は、わき見運転をしない。歩行者も手を挙げるなどして自分の存在をアピールしましょう」などと市民へ交通安全を訴えました。



1日署長の鈴木さん。(写真左)と小砂川保育園児



▲長寿祝状と祝金を贈呈された須田キクエさん (写真前列左)

3月14日、須田キクエさん(堀切区)が10歳の誕生日を迎えられ、にかほ市から長寿祝状と祝金(30万円)が贈呈されました。駆けつけたご家族や、多くの方々に祝福された須田さんは「盛大にお祝いして頂きありがとうございます」と御礼の言葉を述べられました。どうぞこれからもお元気で末永くお過ごしください。

100歳  
長寿

須田 キクエさん  
おめでとうございます

## 防災力、備えあれば憂いなし

～ 仁賀保高校防災サークル主催「宿泊防災訓練」～

3月20日、仁賀保高校の防災サークル「Be助人」が主催する「宿泊防災訓練」が同校を会場に行われました。今回で3回目を迎えるこの訓練は、東日本大震災の記憶を風化させないことや、災害への対応能力向上を目的に実施されており、生徒や市民、市外からは、大曲高校の生徒・教員など約200人が参加しました。

東日本大震災の追悼式後に行われた避難訓練は、部活動中に地震が発生した想定で実施され、心肺蘇生法の実践や、けが人が発生した際の対応などについて確認をしました。その後に行われた避難所運営・宿泊訓練では、電気が使用できない状況下を想定した炊き出しや、スマートフォン用ソフトを用いた情報伝達の訓練が行われました。

また訓練の合間には、教職員がケガ人や要介護者などに扮し、生徒に対して様々な課題を与え、その課題に対し、生徒たちが協力しながら対応する姿が多く見られました。

この訓練をとおして、参加した生徒らは「前回行われた防災訓練では、避難所を開設するのに3時間以上かかったが、今回は40分で完了することができた。このような活動を続けていくことで、災害に対する意識や防災力が高まっていく」と話していました。

